

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」		公表日		7年2月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		人員基準通りの配置となっています		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			○	階段があり、不便をかけることがあるので障がい特性に応じてエレベーターなどを使用するようにしています	整理整頓をこころがけ快適な空間になるように努める	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		掃除や消毒等毎週行い清潔の保持や感染症対策を徹底している		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		必要に応じて利用することができるようにしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		定期的に職員間で支援の在り方など日々の振り返りを行い検討するようにしている	業務がスムーズに行えるように支援者同士のコミュニケーションを日頃より取り会議等で全員が参画できるようにしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		評価表を集計し改善項目について支援者間で共有し改善できることから改善をするようにしている	日々保護者とのコミュニケーションを図り意見を取り入れ改善につなげられるようにしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		日々職員同士のコミュニケーションを取り意見を言い合えるようにして業務改善につなげている	一人ひとりが支援者としてのプライドを持ち、それぞれの役割を分担したり協力し合える人間関係作りを行う
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		外部評価の準備を検討している
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		職員全員がスキル向上のため 年2回以上の外部研修や施設内研修会に参加できるように機会を確保できている	今後も必要な研修会の確保をしてスキルアップにつなげる
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		2月からホームページに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		利用開始時や面談等の通じて保護者のニーズを聞き計画に反映するようにしている 活動状況を職員間で共有し一人ひとりの行動特性などを把握している	5領域21項目をアセスメントツールとして活用し利用児一人ひとりの強みや弱みをとらえ、一人ひとりの計画の作成をする
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		児童一人ひとりのファイルを常に支援者が見れるようにしている 計画の内容を共有し支援できるように話合っている	全職員が計画に沿って支援をしていることを理解できるように日々計画を共有するようにしていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		フォーマルなアセスメントの確認を行い、インフォーマルなアセスメントも支援者間で書き出すようにしている	保護者に必要な情報を求め、支援者間では行動観察上の情報を共有できるようにする
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		新しいガイドライン計画の様式に沿って計画を設定するようにしている	具体的でわかりやすい支援内容を設定するよう努めます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		常にチームで活動内容を決めている	活動プログラムが適切だったかなど反省点を生かせるように検討していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		季節の行事やレク活動を工夫している	一人一人の成功体験につながるよう内容を工夫していく

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別の活動は自由時間、小グループ、レク活動とや作業として支援を行っている	活動の中で利用児の課題を見つけ、発達支援につなげられるように努める
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼で打ち合わせをしてその日の行動を確認する、伝達はノートを共有し確認するようにしている	それぞれの役割について話し合い臨機応変に支援をする
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	その日できるときは振り返りを行い、次の日やその週で空き時間などで話を常に行うようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録は必ず残し、会議や計画等で参考している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年に一回は保護者と面談をしてモニタリングし計画の見直しをするようにしている	スケジュールを立てて行うように努める
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	児童発達支援管理責任者が現場支援者からの情報をまとめて参加している	今後は、児発管だけでなく支援者も参加できるようにして職員のスキル向上につなげていきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	相談員と必要に応じて連携できるように協力している	保護者の協力を得て連携できるように努める
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	随時連携できるように送迎時に支援者が情報の共有を図っている	相互理解につながるように情報の共有を今後も継続できるように努める
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	保護者と相談しながら必要に応じて連携するようにしている	保護者の同意を得ながら相互理解に努める
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者を通じて連携、共有できるように調整している 学校とも直接連絡を取り合えるように日頃より調整している	連絡体制に漏れがないように努める
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談員を通じて情報を共有している	移行支援についてまだ踏み込んでいないところがあるので今後の課題としている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	移行支援の時には保護者の意向があれば一緒に情報を共有するようにしている	移行支援についてまだ踏み込んでいないところがあるので今後の課題としている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	地域にいるSWに連絡して困難事例についての検討に参加していただき助言等を受けるようにしている	職員のスキル向上のために連携を図り助言を受けていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	計画をして取り組んでいる	回数が少ないのでもう少し計画して機会を設けたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	地域生活支援部会、子供部会に参加している	
保護者への	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日頃の様子については、連絡ノートでのやり取りやLINEでの連絡を行い、面談を通じて発達状況を確認している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	職員全員がメンターの資格を取り取りくめるようにしている	計画までは立てていて実行できていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明を行うようにしている	新たな情報など細かに伝達できるように努める
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談やサービス担当者会議等で保護者のニーズを確認するようにしている	保護者のニーズや本人の希望などを確認して計画に反映できるように努める
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画を作成し内容を説明し同意を得るようにしている	保護者に協力を求め丁寧な説明を行います
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者の希望に応じていつでも相談に応じられるようにしている	職員間で内容を共有し保護者への適切なアドバイスができるように取り組む
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	行事に保護者を呼び同じ日に利用している保護者が集まれるようにしている	年間の行事日程で開催できるように設定する

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達支援管理責任者が対応している	相談内容を真摯に受け止めて迅速に対応できるようにする
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信は毎月、広報などは年間4回発行、HP等を使い発信もやっている	通信の発行月末までに配布できるようにする
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		同意書にサインをいただき職員に周知している	今後も個人情報の取り扱いに十分留意する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		困りがないように伝達方法を工夫している	伝わったかの細かに確認し、わかりやすい情報伝達を工夫する
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域とのつながりを大切に常に開かれた事業運営を行っている	実際に招待まではできていないが周辺を利用児と散歩し活動の様子を見せている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		法人全体でのマニュアルが作成されている、訓練も並行して行っている	保護者に対して周知していただけるように工夫していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人全体での訓練と事業所での訓練を行っている	今後も非常災害に備え必要な訓練を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		てんかん発作の可能性のある児童がいるので対応方法を保護者と確認して取り組んでいる	服薬等の確認を行い変更のある場合は、内容を確認する
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必要のある児童がいる場合指示書を提出していただくようになっている	保護者に確認をして必要に応じて診断書や指示書の提出をお願いする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間計画を通して必要な研修を行うようにしている	保護者への協力を求め事業所で安心安全で過ごせるように支援を行えるように努める
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事故など起きた場合保護者に迅速に連絡をする	安全計画の見直しを行い家族への周知を図る
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故やヒヤリハット発生における報告書の記入保護者への迅速な報告連絡を行う、また再発防止に取り組んでいる	事故、ヒヤリハット後の対策を考え再発防止のために職員間で周知できるように努める
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内部で虐待について外部、内部での研修に参加し職員間で周知している	日頃の支援の在り方を職員間で検討し虐待防止に努める
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明を行うようにして同意が必要な場合は計画にあげるようにしている	保護者の同意を得たうえで記載するようにする	